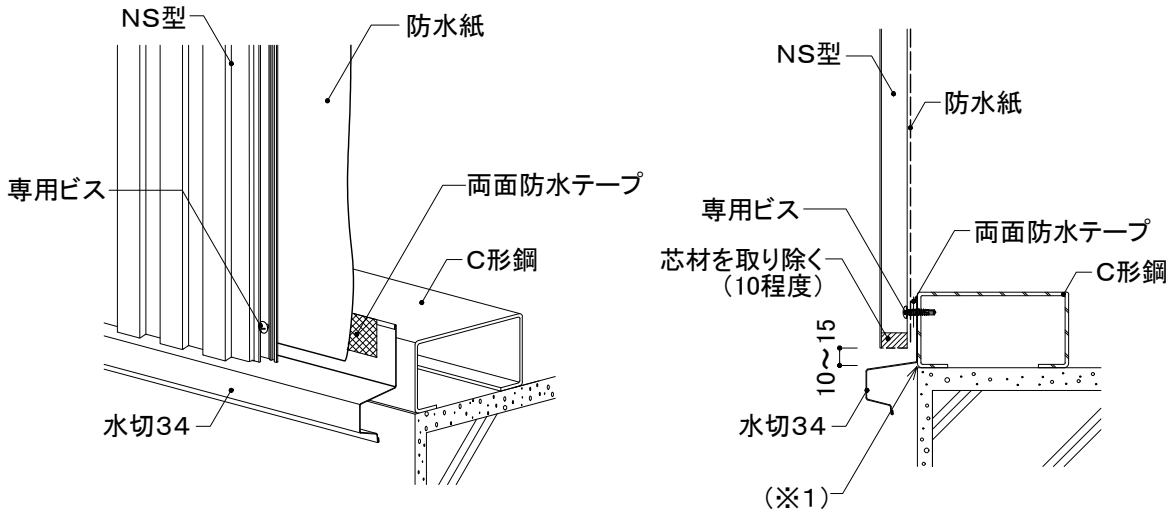
NS型	下　地	留付方法	張り方向	鉄骨胴縁組
	鉄骨造直張り	ビス	縦	横胴縁 @610㎜以下

3）土台部　①水切34

●水切34は、土台に500㎜以下の間隔で専用ビスを用いて水平に留め付けます。
●防水紙は水切り34の上にかぶせて施工し、両面防水テープを用いて防水紙を貼り付けます。
●センターサイディング下端の芯材を、10㎜程度取り除きます。
●センターサイディング下端と水切34の間に、10～15㎜の隙間を設けます。
●センターサイディングは、専用ビス（ステンレステクスビスφ4㎜×19㎜）で実部に留め付けます。
※1　吹き上げなどによる雨水の浸入を防ぐため、止水処理が確実に行われていることを確認してください。



3）土台部　②水切34＋タテ用スターター

●水切34は、土台に500㎜以下の間隔で専用ビスを用いて水平に留め付けます。
●タテ用スターターまたはN端部カバーは、胴縁に500㎜以下の間隔で専用ビスを用いて水平に留め付けます。
●タテ用スターターまたはN端部カバー下端と水切34の間に、10～15㎜の隙間を設けます。
●センターサイディング下端は必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付け、タテ用スターターまたはN端部カバーに差し込みます。（※1）
●センターサイディングは、専用ビス（ステンレステクスビスφ4㎜×19㎜）で実部に留め付けます。
※2　吹き上げなどによる雨水の浸入を防ぐため、止水処理が確実に行われていることを確認してください。
（注）降雪量の多い地域では鋼板製の部材を使用せず、本体の芯材を取り除くかアルミ端部カバーを使用します。
　　なお、アルミ端部カバーを使用する場合、NS型段付バッカー材は不要です。

